

## 第2学年 国語科学習指導案

### 1 単元名 はっぴょうしよう 「あったらいいな、こんなもの」

### 2 指導観

- 本学年の子どもたちは、1学期の単元「ともさんはどこかな」(話すこと・聞くこと)の学習で、大事なことを落とさずに話したり聞いたり、質問したりして迷子を見つけるという学習をしてきている。この学習によって子どもたちは、必要な事柄を選び、声の大きさや速さに注意してはっきりと話すことや大事なことを落とさずに聞いたりする力をつけている。しかし、自分で考えたことを順序よく話したり、あいづちを打ちながら聞いたり質問したりすることはまだ十分ではない。

平成23年7月に行った「学しゅうにかんするアンケート」によると、91%が、「はきはきすらすらと音読できる」、86%が「自分の考えをつくることができる」と答えている。しかし、「発表する回数が多い」と答えた子どもは、58%と低い数字である。これらの結果から、国語に対する関心は高いが、自分の考えを友だちに伝えたいという思いをもっている、自分から進んで発表して伝えることがまだ十分でないということが分かる。

- 本単元では、「こんなものがあったら楽しいな、便利だな。」と思うものを楽しく想像し、話す順序を考えながら聞き手に分かるように話したり、大事なことを落とさずに最後まで聞いたり、話題に沿って話し合ったりする力を身に付けることをねらいとしている。

一人ひとりが発想力を生かして考え、「あったらいいな、こんなもの発表会」を開くことを活動目的とすることで、話すことや聞くこと、話し合うことに目的をもち、引き出すのに適した教材である。具体的には、「あったらいいな」と思うものをペアで対話させ、聞き手の質問に答えたことを付け加えていくことにより、初めの考えが十分でなくても、だんだんと具体的なイメージをもたせていくことができる。そして、話題に沿って話し合うことや考えを膨らませながら詳しく話す過程を大切に、友達の考えを共感的に受け止め、あいづちを打ちながら感想を述べたり、質問をしたりすることで、大事なことを落とさずに聞く力を育てることができる教材である。さらに、発表メモを活用し、対話を通して詳しくなった事柄を分類し整理することで、話す内容を組み立て、順序を考えて話す力を身に付けさせることができる教材でもある。

- 本単元の指導にあたっては、友達と励ましあい楽しみながら、進んで自分の考えを話したり、聞いたり、話し合ったりすることができるようにしたい。

そのために、まず、教科書の挿絵から「ドラえもん」の便利な道具の資料を提示し、「こんなものがあったら楽しいなあ、便利だなあ。」と思うものを、一人一人が考えてみんなで発表し合うための「あったらいいな、こんなもの発表会」を開催することを知らせる。そして、発表会の目的をもたせることで、話し合う必要感や楽しさ、やり

がいや期待感をもって、学習が進められるようにする。

次に、自分の考えをもたせるために、自分が思いついたアイデアを学習ノートに書かせておき、友達との対話を通してその中から発表会で話したいものを一つ選ばせる。そして、選んだ考えを、ペアを代えながら対話活動をくり返させ、友達の質問に答えたことを付箋に書いて、付け加えさせていくことで、考えたものがより詳しくなるようにする。このとき、話し方・聞き方、話し合い方の資料提示をし、相手を意識して話したり聞いたりし、話題に沿って共感的に話し合ったりすることができるようにする。

さらに、話す順序を考えて発表メモを作成させ、事柄の順序を考えながら話すことができるようにする。その際、書きためてきた付箋を、「考えたもののせつめい」（形や大きさ・はたらき）と「考えたきっかけやわけ」（わけ）に分類し、話す中心や順序が分かるようにして、話す内容を整理することができるようにする。そして、それをもとに、同じ班どうし、同じ列どうしというように、練習する人数を増やししながら発表の練習を重ね、くり返し、話し方・聞き方、話し合い方の振り返りをさせ、発表会への意欲を高めることができるようにする。

最後に、「あったらいいな、こんなもの発表会」を行い、みんなの前で話す場合の話し方・聞き方、話し合い方を確認し、発表させることで、発表する自信をもたせ、発表することの楽しさを実感できるようにする。そして、発表会に向けて、自分が頑張ってきたことや、どんな話し方・聞き方、話し合い方が身に付いてきたのか振り返らせ、これからの様々な学習活動に活用できるようにするとともに「話すこと・聞くこと」への意欲付けにしたい。

### 3 単元目標

- 自分が考えたものについて、話す事柄の順序を考えて、はっきりした発音で聞き手に分かるように工夫して話すことができる。
- 大事なことを聞き落とさないようにしながら友達の話を聞き、感想を述べたり、質問したりすることができる。
- 相手に分かるように話したり、相手の話にあいづちを打ちながら聞いたりして、話題に沿って話し合うことができる。

4 学習指導計画：全 15時間

(手だて ※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
1 2	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「あったらいいな」と思うものについて話し合い，発表会までの見通しをもつことができる。</p> <p>1 本時学習のめあてを確認する。 2 「ドラえもん」の道具の中で自分がほしいものについて話し合う。 3 「あったらいいな」と思うものを想像して話し合う。 4 「あったらいいな，こんなもの発表会」をすることを知り，学習の見通しをもつ。</p>	<p>教師の支援と手だて</p> <p>○教科書の挿絵や「ドラえもん」の便利な道具の資料を提示し，「こんなものがあったら楽しいなあ，便利だなあ。」と思うものを考えることに興味をもつことができるようにする。 <b>※1</b> 思いついたものを学習ノートに簡単な絵や文で次々とかき，発想を広げることができるようにする。 ○全文を読んだ後，発表会までの学習計画を子どもと確認し，学習の目的と見通しをもたせる。</p>
3	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">新出漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。</p> <p>1 本時学習のめあてを確認する。 2 新出漢字の練習をする。 (1) 新出漢字の読み方，筆順，使い方を確かめ，書き込み練習をする。</p>	<p>○空中に大きくのびのびと書き，とめ，はね，はらいや筆順を正しく丁寧に書くことができるようにする。</p>
4 2の2 本時 4/15	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">考えてきたものを話し合い，発表会で話すものを決めることができる。</p> <p>1 本時学習のめあてを確認する。 2 これまで考えてきた「あったらいいな」と思うものについてペアの友達と話し合う。 3 発表したいものを一つ選び，話し合う。 (1) 発表したいものを一つ選び，選んだわけを簡単に書く。 (2) 学習ノートを見せながら，選んだわけを隣のペアの友達に話す。 (3) 友達の感想を聞く。 4 対話活動について振り返る。</p>	<p><b>※<b>環</b></b>「話しかた」「聞きかた」「話し合いかた」の資料を活用し，対話の仕方を理解させる。</p> <p><b>※1</b> 選んだわけを付箋に簡単に書かせ，発表する思いを確かにもたせる。 <b>※2</b> 発表したいものについて対話し，自分の考えを確かめさせる。 <b>※3</b> 対話活動での自分の話し方・聞き方を自己評価させて，振り返らせる。</p>

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
5	<p data-bbox="300 226 1402 286">「あったらいいな」と思うものを簡単な絵や文に表すことができる。</p> <p data-bbox="300 304 847 387">1 「あったらいいな」と思うものを絵や文にかく。</p>	<p data-bbox="874 304 1422 477">○発表するものを絵に表したり，できることや選んだわけを簡単な文に書いたりして，自分の考えを確かにもつことができるようにする。</p>
6	<p data-bbox="300 517 1412 600">考えているものを詳しくするための尋ね方について話し合うことができる。</p> <p data-bbox="300 640 847 958">1 本時学習のめあてを確認する。 2 教科書やCDを参考に，発表会で話すものを詳しくするための「たずねかた」（質問の内容やあいづち）について話し合う。 3 質問に答えたことから，詳しくなったことについて話し合う。</p>	<p data-bbox="874 685 1406 813">※<b>環</b>拡大した教科書の挿絵を提示し，CDを聞いて，質問や答えの内容，あいづちを打つよさを理解させる。</p> <p data-bbox="874 880 1422 1003">○質問に答えたことを板書にまとめ，答えた内容で考えているものが詳しくなることを意識づける。</p>
7 2の4 本時 7/15	<p data-bbox="300 1043 1412 1104">友達と話し合い，考えているものについて，詳しく話すことができる。</p> <p data-bbox="300 1122 847 1921">1 前時学習の「たずねかた」を振り返り，本時学習のめあてを確認する。 2 「話し合いのすすめかた」を知る。 3 「あったらいいな」と思うものを隣のペアの友達と話し合う。 4 詳しくすることを付箋に書いて学習ノートに貼る。 5 詳しくなった学習ノートを見ながら話す練習をする。 6 詳しくしたことを取り入れ，もう一度，隣のペアの友達と話し合う。 7 対話活動について振り返る。</p>	<p data-bbox="874 1122 1422 1249">※<b>環</b>前時に確認した「たずねかた」の資料を振り返り，対話を通して詳しくする方法を理解させる。</p> <p data-bbox="874 1267 1422 1395">※<b>環</b>「話し合いのすすめかた」の資料を提示し，スムーズに対話できるようにする。</p> <p data-bbox="874 1413 1422 1541">※<b>2</b>最初の話し手の発表後，わかりやすく対話しているペアを賞賛し，次の対話への意欲を高める。</p> <p data-bbox="874 1648 1422 1776">※<b>1</b>質問に答えたことを付箋に簡単に書き，自分の考えが詳しくなったことを確かめさせる。</p> <p data-bbox="874 1794 1422 1877">※<b>2</b>付箋の内容を付け加えながら詳しく話すことができるようにする。</p> <p data-bbox="874 1895 1422 1977">※<b>3</b>対話活動を自己評価させて，話し方・聞き方を振り返らせる。</p>

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
8 2の5 本時 8/15	<div data-bbox="300 212 1412 318" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ペアの友達を代えて話し合い，考えているものについて，より詳しく話すことができる。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時学習のめあてを確認する。</li> <li>2 「話し合いのすすめかた」を確認める。</li> <li>3 ペアを代えて、「あったらいいな」と思うものについて話し合う。 (1) 前後の友達と話し合い，質問に答えたことやよさを付箋に書き，付け加えて，詳しくする。 (2) 斜め前後の友達と話し合い，質問に答えたことやよさを付箋に書き，さらに付け加えて，さらに詳しくする。</li> <li>4 隣の友達と話し合い，詳しくなったところを確認める。</li> <li>5 対話活動について振り返る。</li> </ol>	<p>※<b>環</b>「たずねかた」「話し合いのすすめかた」の資料を提示して，確かめる。</p> <p>※2自分の考えを詳しくするための対話活動をくり返す。</p> <p>※1質問に答えたことを付箋に簡単に書き，考えているものが詳しくなったことを確かめさせる。</p> <p>※2付箋の内容を付け加えながら詳しく話すことができるようにする。</p> <p>※3対話活動での自分の話し方・聞き方を自己評価させ，振り返らせる。</p>
9 10 11	<div data-bbox="300 1171 1412 1276" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話の中心を「形や大きさ」「はたらき」「わけ」に分類して考え，発表メモをつくり，絵に表すことができる。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時学習のめあてを確認する。</li> <li>2 教科書の発表メモを読み，発表の組み立てについて話し合う。</li> <li>3 話の中心を三つに分ける。 ○形や大きさ ○はたらき ○わけ</li> <li>4 発表メモをつくる。</li> <li>5 「あったらいいな」と思うものが伝わるように絵で表す。 (1) 自分の考えがよく分かるようにどこに何をどのくらいの大きさでどのように描くか考えてかく。</li> </ol>	<p>※<b>環</b>教科書のせとさんの発表の組み立てを提示し，話す順序と話す事柄の分類を理解させる。</p> <p>○付箋に書いて付け加えてきた自分の考えがどの分類に入るか分からないときは，隣のペアの友達や教師に相談してよいようにする。</p> <p>※1発表メモに話す事柄を順序よく簡単な言葉で書かせることで，詳しくなった自分の考えを整理させる。</p> <p>○発表メモや絵は，これからの発表の練習の途中で書き加えたり書き直したりしてよいことを伝え，自分の考えをより分かりやすくしていくことができるようにする。</p>

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
	(2) 絵を描きながら新たな考えが浮かんだら、発表メモに書き加える。	
1 2	<div data-bbox="300 369 1412 474" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           発表会に向けて班で練習し、話し方・聞き方を考えて話したり聞いたりすることができる。         </div> <p>1 班での話し方・聞き方の目標を確かめる。</p> <p>○聞き手に分かりやすい「話しかた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぐ言葉や例える言葉など付け加えて。</li> <li>・みんなの方を見て。</li> <li>・はっきりと。</li> <li>・丁寧な言葉遣いで。</li> <li>・よい姿勢で。</li> </ul> <p>○話し手がうれしくなる「聞きかた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話している人の方を見て。</li> <li>・うなずいたり、あいづちを打ったりして。</li> <li>・最後まで。</li> <li>・質問や感想を言って。</li> </ul> <p>2 班の友達を意識して自分で練習する。</p> <p>3 班の友達と発表の練習をする。</p> <p>4 班での話し合い活動を振り返る。</p>	<p>○CDを聞いて大事なことをメモに取り、隣の友達と話して、聞き手に分かりやすい話し方、話し手がうれしくなる聞き方について確かさせる。</p> <p><b>※環</b>CDの内容から、発表メモの言葉をつなぐ言葉や例える言葉など付け加える言葉の例を知らせ、分かりやすく話すことができるようにする。</p> <p><b>※環</b>「話しかた」「聞きかた」について資料として提示し、確かめながら発表の練習ができるようにする。</p> <p>○感想は、発表の仕方と考えのよさについて話すようにする。</p> <p>○話し手が質問に答えられなかったら、聞き手の友達同士で話をつないで考えて教えてあげてよいようにし、聞き手の人数が増えたよさが生かせるようにする。</p> <p><b>※3班の話し合い活動を自己評価させて、話し方・聞き方を振り返らせる。</b></p>
1 3 2 の 3 本時 13 / 15	<div data-bbox="300 1713 1412 1818" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           発表会に向けて列で練習し、声の大きさや速さに注意して話したり、質問や感想を考えながら聞いたりすることができる。         </div> <p>1 列での話し方・聞き方の目標を確かめる。</p> <p>○「話しかた」</p>	<p><b>※環</b>前時の資料「話しかた」「聞きかた」を活用し、資料に本時の目標を付け加え、確かめながら発表の練習ができるようにする。</p>

時	主な学習活動と内容	教師の支援と手だて
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・列の友達に聞こえる声の大き さで。</li> <li>・ゆっくりと。</li> <li>○「聞きかた」</li> <li>・話す人を見て、最後まで。</li> <li>・質問や感想を聞き手で繋いで。</li> </ul> <p>2 一人ひとり、自分で練習する。</p> <p>3 列の友達と発表の練習をする。</p> <p>4 列での話し合い活動を振り返る。</p>	<p>○感想は、発表の仕方と考えのよさについて話すようにする。</p> <p>○簡単な司会をする子を決めておき、効率よく発表の練習ができるようにする。</p> <p><b>※1 つなぐ言葉やたとえの言葉、もう少し詳しく話したいことが見つかったら、発表メモに簡単に書き加えてよいようにする。</b></p> <p><b>※2 話し方・聞き方のよさを賞賛したり、聞き手同士が話をつなげてよいことを助言したりして、話題に沿って楽しく話し合うことができるようにする。</b></p> <p><b>※3 列での話し合い活動を自己評価させ、話し方・聞き方を振り返らせる。</b></p>
<p>1 4 2 の 1 本時 14 / 15 1 5</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>発表会を開き、めあてをもって話したり聞いたりすることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 本時学習のめあてを確認する。</li> <li>2 「はっぴょう会のすすめかた」と「話しかた」「聞きかた」を確かめる。</li> <li>3 発表する。</li> <li>4 発表会のまとめをする。</li> </ul> <p>(1) 発表会までに頑張ってきた話し方・聞き方について話し合う。</p> <p>(2) 「今日の学習で」を書き、振り返る。</p>	<p><b>※環</b>「はっぴょう会のすすめかた」の資料を提示して確かめ、話題に沿って話し合うことができるようにする。</p> <p><b>※3 発表会で頑張ったことや発表会までに頑張ってきたことを話し合い、よさを認め合うことができるようにする。</b></p> <p><b>※3 発表会の話し方・聞き方を自己評価させ、発表会までに頑張ってきたことや自分の発表のよさを書き、達成感を味わわせることができるようにする。</b></p>

## 第2学年 組 本時学習指導案

### 5 本時（4 / 15）

### 6 本時の目標

- 発表会で話すものを一つ選び、そのわけをはっきりした声で話すことができる。
- 友達の話を大事なことを落とさずに、あいづちを打ちながら聞くことができる。

### 7 本時指導の考え方

本時は「あったらいいな」と思うものの中から、発表会で話すものを一つ選び、そのわけを隣のペアの友達に分かりやすく話すことができることをねらいとしている。

はじめに、本時学習のめあての確認をした後、話し方・聞き方を提示し、「これは空を自由に飛ぶことができるものです。名前は『いつでもとべるん』と言います。空の上を散歩できたら、きっと楽しいと思って考えました。」というように紹介の仕方を演示して、対話活動の仕方を理解させ、子どもたちが活発に対話できるようにする。

次に、考えたものを隣のペアでいくつか紹介し合っただ対話させる。隣のペアで話し合いが始まってからは机間指導を行って、楽しいアイデアを思いついているのに進んで対話できていない子には賞賛したり共感したりするとともに、対話の仕方を具体的に教えて対話する意欲を高めることができるようにする。

そして、発表会で話そうと思うものを一つ選ばせる。その際、発表するものとそれを選んだわけを簡単に付箋に書かせ、学習ノートに貼らせる。また、一つに決めることに迷っている子には、アイデアのよさを比べさせ、詳しく説明できそうなものを選ぶように助言する。

さらに、選んだものとそのわけについて話させる。そのとき、隣のペアで相互に感想を言わせることで、自分の考えに自信をもたせ、自分の考えをより分かりやすく伝えようとする意欲を高めていきたい。その際、話す人は選んだわけをはっきりした声で話すこと、聞く人はそのわけを聞き落とさないように聞くことやあいづちを打ちながら聞くことを意識づける。

最後に、本時学習のめあてにもどり、本時の対話活動の目標に沿って学習ノートを使って自己評価させ、次時では決めたものを絵や文で表す意欲をもつことができるようにする。

### 8 準備

- 教師 「話しかた」「聞きかた」「声のものさし」「話し合いかた」の資料
- 児童 学習ノート 付箋



9 本時の展開(※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動※3振り返り活動※環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時を想起し、本時学習のめあてを確認する。</p>	<p>○前時までの学習ノートを見て「あったらいいな」と思うものを想起させる。 ○発表会に向けて、一つだけ選ぶことを知らせる。</p>
<p>めあて 友だちと話し合い、はっぴょう会で話す「あったらいいな」と思うものを一つえら</p>	
<p>2 話し合い方を確認する。 ○話し方・聞き方のめあてを確認する。 ・隣のペアで話すので1の声で話す。 ・絵を見せながら友達に話す。 ・はっきりとした声で話す。 (何ができるか・名前・わけ) ・大事なことを落とさずに聞く。</p> <p>3 「あったらいいな」と思うものについて隣のペアの友達と話し合う。 (1)「あったらいいな」と思うものについて学習ノートを見せながら話す。 (2) 隣のペアの友達から感想を聞く。</p> <p>4 自分が一番話したいものを一つ選び、隣のペアの友達と話し合う。 (1) 発表するものとそれを選んだわけを書く。 (2) 隣のペアの友達に絵を見せながら選んだわけ(自分の思い)を話す。 (3) 隣のペアの友達から感想を聞く。</p> <p>5 本時学習をまとめる。 (1) まとめを書く。</p>	<p>※環境「話しかた」「聞きかた」「声のものさし」「話し合いかた」の資料を活用し、対話の仕方を理解させる。 ○紹介の仕方を演示して、話し合い方を知らせる。 ・(何ができるか)これは空を自由に飛ぶことができるものです。 (名前)名前は「いつでもとべるん」と言います。(わけ)空の上を散歩したら、きっと楽しいと思って考えました。 ・(共感) そんな羽がほしいなあ。</p> <p>○進んで対話できていない子には、言葉を補いながら対話の仕方を具体的に教える。</p> <p>※1選んだわけを付箋に簡単に書かせ、発表したいという思いをもたせる。 ○発表するものとそれを選んだわけを隣のペアの友達にはっきりと話すことができるよう意識づける。 ○選んだわけを落とさずに、あいづちを打ちながら聞くことができるよう意識づける。</p> <p>※2発表したいものについて対話し、自分の考えを確かめさせる。</p>
<p>まとめ 友だちと話し合って、自分の考えの中で一番よいものをえらぶことができた。 ・はっきりとしたこえで話すことができた。 ・だいたいなことをおとさずに聞くことができた。</p>	
<p>(2)「今日の学しゅうで」を書き、振り返る。  (3) 次時学習について知る。</p>	<p>※3対話活動での自分の話し方・聞き方を自己評価させて、振り返らせる。 ○次時は「あったらいいな」と思うもののイメージスケッチをかくことを知らせる。</p>

## 第2学年 組 本時学習指導案

### 5 本時（7 / 15）

#### 6 本時の目標

- 質問に答えたことをつけ加えて、詳しく話すことができる。
- 質問したり、アドバイスしたりできるように、大事なことを落とさずに聞くことができる。

#### 7 本時指導の考え方

本時は、自分で考えた「あったらいいな」と思うものを友達に分かるように話し、質問したり答えたりすることで、詳しく話し合うことができるようになることをねらいとしている。

そのために、まず前時で作成した学習ノートをもとに、本時では「あったらいいな」と思うものをもっとわかりやすくするために、対話するという本時学習のめあてを確認する。

次に、前時に確認した「たずねかた」の資料を掲示したり、CDを聞かせたりすることで、話し方・聞き方・話し合い方を理解させ、自信を持って自分の考えを話すことができるようにする。

そして、自分が考えた発明品を紹介させ、ペアで質問したり答えたりする活動に取り組ませる。その際、対話が活発になるように、あまり言葉遣いにこだわらず、できるだけ子どもの自然な言葉で話してよいようにする。また、前時で話し合った質問の内容についてまとめたものを例示しておき、対話が停滞した時には、それを手がかりとして活用させるようにする。特に支援が必要な子どもには、机間指導の際に教師がそばで話してみせたり、教師のまねをさせたりして個別に支援する。次に、質問に答えたことを付箋に書いて、学習ノートに貼らせる。その際、付け加える内容がまとまらない子どもには、教師から短い言葉で書いてよいことを助言する。その後、詳しくなった学習ノートを見ながら、個人で発表の練習をさせた後、再び同じペアで対話させる。その際、聞き手が前よりもよくなったところを伝えることで、自信をもって発表できるようにする。

学習の最後には、話し方・聞き方がどうだったかを振り返り、本時学習でのがんばりを確認させるとともに、次時学習への関心・意欲を喚起させたい。

#### 8 準備

- 教師 「たずねかた」「話し合いのすすめかた」の資料、CD、提示用付箋
- 児童 学習ノート、付箋

9 本時の展開 (※1 自分の考えをつくる活動※2 話し合い活動※3 振り返り活動※環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時の学習を想起し、本時めあてを確認する。</p>	<p>○前時で作成した学習ノートをもとに、本時学習のめあてを意識づける。</p>
<p>めあて しつもんをしたりこたえたりして、考えているものについてくわしく話せるよう</p>	
<p>2 「話し合いのすすめかた」を知る。 ①学習ノートを基に順序よく話す。 ②質問をしたり、答えたりする。 ③よかったところを伝える。 ④詳しくすることを簡単に付箋に書く。</p> <p>3 隣のペアの友達と対話して発表の内容を深める。 (話し手) 自分が考えた発明品を紹介する。 (聞き手) もっと詳しく聞きたいことや分かりにくかったことを質問し、アドバイスがあればする。 (話し手) 質問に答えることで、自分の考えをより具体化する。</p> <p>4 もっと分かりやすくなるように、詳しくするところを付箋に書く。 ○質問の答えやアドバイスを取り入れる。 ○友達の発表のよさや質問したりアドバイスしたりしたことを自分の発表にも取り入れる。</p> <p>5 詳しくなった学習ノートを見て、練習する。</p> <p>6 詳しくしたことを取り入れてもう一度隣のペアの友達と対話する。 ○友達の話のよくなったところを付箋に書き、相手の学習プリントに貼る。</p> <p>7 本時学習のまとめをし、振り返る。 (1) まとめを書く。</p>	<p>※環境学習ノートの事柄の順序で発表することを伝え、「たずねかた」「話し合いのすすめかた」の資料を掲示し、CDを聞くことで話し合いの進め方を確認する。</p> <p>※環境前時で話し合った質問の内容についてまとめたものを例示しておき、対話が停滞した時には、それを手がかりとして活用させるようにする。 ○質問やアドバイスが難しい子には、教師がそばで話してみせたり、教師のまねをさせたりする。</p> <p>※2 最初の話し手の発表後、わかりやすく対話しているペアを賞賛し、次の対話への意欲を高める。 ○提示用付箋を準備して、短い言葉で書けるようにする。</p> <p>※1 質問に答えたことを付箋に書き、自分の考えを詳しくする。</p> <p>※2 付箋の内容を付け加えながら、詳しく話すことができるようにする。 ○友達のよさを見つけることが難しい子には、よく書けている子の付箋をヒントにして書くことができるようにする。</p>
<p>まとめ ・しつもんこたえたことをつけくわえて、くわしく話すことができた。 ・しつもんできるように、大じなことをおとさずに聞くことができた。</p>	
<p>(2)「今日の学しゅうで」を書き、振り返る。 (3) 次時の学習について知る。</p>	<p>※3 対話活動での自分の話し方・聞き方を自己評価させ、振り返らせる。 ○次時は相手を代えて話し合いをすることを知らせる。</p>

## 第2学年 組 本時学習指導案

### 5 本時（8／15）

#### 6 本時の目標

- ペアを代えて話し合い，質問に答えたことをつけ加えて，順序を考えて話すことができる。
- 質問したり，アドバイスしたりできるように，話の内容の大事なことを落とさずに聞くことができる。

#### 7 本時指導の考え方

本時は，前時のペアと代えて自分で考えた「あったらいいな」と思うものを友だちに分かるように話し合い，質問したり，答えたりすることで考えを深めることをねらいとしている。

そのために，まず前時に作成した学習ノートをもとに，本時では，ペアを代えて話し合うことよさに気づかせて，本時学習のめあてを確認する。その際，それまでに使ってきた「話しかた」「聞きかた」「話し合いかた」や「たずねかた」の掲示物を活用して「話し方」「聞き方」「話し合い方」を理解させ，自信をもって自分の考えを発表できるようにする。

次に，自分が考えた「あったらいいな」と思うものをペアを代えて対話する。その時，学習ノートや質問カードを使用することで，発表や話し合いの苦手な子どもも意欲的に話し合いに参加できるようにする。

そして，対話については，班の中でペアを交代して3回練習させたい。対話の中で発表する内容は，①名前②できること③わけの3つにしぼって順序よく発表させる。聞き手からは，聞いた感想や質問・考えを中心に発言させ，対話が深まるようにする。1回の対話を5分程度として，交代する。話す内容は形式にこだわらず，できるだけ子ども自身の言葉で発言させるようにし，対話を続けさせる。その際，1回目と2回目の対話活動が終わった時に適切な評価を行い，2回目と3回目の対話活動を行う必要感をもたせる。また，特に支援が必要な子どもにはそばで話してみせたり，教師のまねをさせたりして，個別に支援する。

学習の最後に，自分のめあてに対して，話し方，聞き方がどうだったかの自己評価をさせて振り返らせ，本時学習でのがんばりを次時学習への関心・意欲へつなげたい。

#### 8 準備

- 教師 「たずねかた」「話し合いのすすめかた」の資料
- 児童 学習ノート 付箋

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時につくった学習ノートが詳しくなったことを確認し、本時是对話の相手を代えて話し合い、発表内容をさらに詳しくしていく学習であることを気付かせる。</p>
<p>めあて 友だちをかえて話し合い、考えているものをもっとくわしくしよう。</p>	
<p>2 「話し合いのすすめかた」を確認する。 ① 学習ノートをもとに順序よく話す。 ② 質問をしたり，答えたりする。 ③ よかったところを伝える。 ④ 詳しくすることを付箋に書く。</p> <p>3 友だちと対話して，発表内容を深める。 (1) 前後の友達と対話する。 (話し手) 自分が考えたものを紹介する。 (聞き手) もっと詳しく聞きたいことや分かりにくかったことを質問し，アドバイスがあればする。 (話し手) 質問に答えることで，自分の考えをより具体化する。 (2) 相手を代えて対話する。</p> <p>4 質問されて具体的になったことや付箋を学習ノートに貼り，詳しくなった学習ノートをもとに隣の人と対話する。</p> <p>5 本時学習のまとめをし，振り返る (1) まとめを書く。</p>	<p>※<b>環</b>「たずねかた」「話し合いのすすめかた」の資料を掲示し，話し合いの進め方を確認する。 ○発表のしかたを確認する。 ①なまえ ②できること ③わけ</p> <p>○内容に対する感想が言えないときは，話し方についての感想でもよいことを伝える。 ○支援が必要と思われるペアを中心に机間指導をし，対話がスムーズにおこなわれるようにする。</p> <p>※2最初のペアの発表後，質問と答え方のよいペアを賞賛し，次の対話へのめあてとする。 ※2次のペアの発表後，アドバイスと付け加えのよいペアを賞賛し，次の対話へのめあてとする。</p> <p>※1質問に答えたことを付箋に簡単に書き，考えているものを詳しくする。 ※2付箋の内容を付け加えながら詳しく話すことができるようにする。</p>
<p>まとめ ・こえの大きさに気をつけて，じゅんじょよく，はっきり話すことができた。 ・しつもんやアドバイスができるように大じなことをおとさずに聞くことができた。</p>	
<p>(2)「今日の学しゅうで」を書き，振り返る。 (3) 次時の学習について知る。 ○次時は，発表メモをつくることを知る。</p>	<p>※3対話活動での自分の話し方・聞き方を自己評価させ，振り返らせる。</p>

## 第2学年 組 本時学習指導案

### 5 本時(13/15)

#### 6 本時の目標

- 発表会に向けて列で練習し、声の大きさや速さに注意して話すことができる。
- 友達の発表を、質問や感想が言えるように、大事なことを落とさずに聞くことができる。

#### 7 本時指導の考え方

本時は、「あったらいいな、こんなもの発表会」に向けて聞き手の人数を増やし、声の大きさや速さに注意して話すことができるようになることをねらいとしている。

そのために、まず、発表会を意識しながら意欲的に活動できるように、前時でCDを聞き、丁寧な言葉で話したり、つなぐ言葉や例えの言葉を付け加えたりして、発表の練習をしたことを振り返らせ、本時学習のめあてを確かめる。

次に、列で発表するときに自信を持つことができるように、「話しかた」や「声のものさし」の資料を活用し、声の大きさや速さに注意して一人ひとり発表の練習をさせる。その際、前時で学習した、つなぐ言葉や例えの言葉など付け加える言葉にも留意させ、新たに思い浮かんだら発表メモに書いてよいようにする。

列の友達の前で発表の練習をするときは、全員発表できるように、簡単に進行を手助けする司会者を決め、時間を考えながらスムーズに進めたり、「聞きかた」や「話し合いのすすめかた」などの資料を確かめながら評価し合ったり、励まし合ったりしながら練習させる。また、たくさんの友達と話題に沿って話し合う楽しさを味わうことができるように、話し方や聞き方のよさを賞賛したり、聞き手同士で質問や感想をつなげて話し合うことを助言したりする。みんなの前で上手く話せない子には、進んで話すことができるように、発表メモをもとに教師と一緒に話して支援する。

最後に、「あったらいいな、こんなもの発表会」に自信をもって臨むことができるように、列での発表を自己評価させて振り返り、本時学習での頑張りを自覚させて、次時学習への関心・意欲へつなげたい。

#### 8 準備

- 教師 「話しかた」「聞きかた」「声のものさし」などの資料
- 児童 「あったらいいな」と思うものの絵・学習ノート

9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時を想起し、めあてを確認する。</p> <p>(1) 前時の学習を想起する。</p> <p>(2) 発表会に向けて、列の友達と練習することを知らせる。</p>	<p>○前時、CDを聞いて丁寧な言葉で分かりやすく発表の練習をしたことを想起させて、本時学習のめあてを意識づけさせる。</p>
<p>めあて</p> <p>はっぴょう会にむけて、こえの大きさやはやさにちゅういして話したり、しつもんやかんそうを考えながら聞いたりしよう。</p>	
<p>2 列での練習の「話しかた」や「聞きかた」を確認する。</p> <p>○「話しかた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・列の友達に聞こえる声の大きさで。</li> <li>・ゆっくりと。</li> </ul> <p>○「聞きかた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す人を見て、最後まで。</li> <li>・質問や感想を聞き手でつないで。</li> </ul> <p>3 列の友達に分かるように、一人ひとり発表の練習をする。</p> <p>4 列の友達と発表の練習をする。</p> <p>5 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) まとめを書く。</p>	<p>※<b>環</b>「こえのものさし」「話しかた」などの資料を確かめさせ、声の大きさ、速さなどに注意して話すことを確認する。</p> <p>※<b>環</b>前時の資料「話しかた」「聞きかた」に本時の目標を付け加え、確かめながら発表の練習ができるようにする。</p> <p>○感想は、発表の仕方と考えのよさについて話すようにする。</p> <p>○簡単な司会をする子を決めておき、効率よく発表の練習ができるようにする。</p> <p>※1つなぐ言葉やたとえの言葉、もう少し詳しく話したいことが見つかったら、発表メモに簡単に書き加えてよいようにする。</p> <p>※2話し方や聞き方のよさを賞賛したり、聞き手同士が質問や感想をつなげてよいことを助言したりして、話題に沿って楽しく話し合うことができるようにする。</p> <p>○みんなの前で上手く話せない子には、進んで話すことができるように、発表メモをもとに助言する。</p>
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすいこえの大きさやはやさで話すことができた。</li> <li>・しつもんやかんそうを考えながら、話す人を見てさいごまで聞くことができた。</li> </ul>	
<p>(2) 「今日の学しゅうで」を書き、振り返る。</p> <p>(3) 次時の学習について知る。</p>	<p>※3列での話し合い活動を自己評価させて振り返らせる。</p> <p>○次時は、発表会を開くことを知らせる。</p>

## 第2学年 組 本時学習指導案

### 5 本時（14 / 15）

### 6 本時の目標

- 話す順序や話し方に注意しながら、発表することができる。
- 内容を落とさずに友達の発表を聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。

### 7 本時指導の考え方

本時は、「あったらいいな、こんなもの発表会」を行い、話す順序や話し方に注意しながら、分かりやすく発表したり、内容を落とさずに友達の発表を聞き、質問したり感想を述べたりすることができることをねらいとしている。

そのために、まず、前時までに班や列で発表の練習をしてきたことを想起させ、本時は学級全体で発表会を行うことを確認させる。その上で、今まで練習してきた話し方・聞き方を、学習ノートや掲示物を用いて確認し、発表会での自分の話し方・聞き方のめあてを考えさせる。発表会の後に、話し方・聞き方の振り返りをするのを伝えておくことで、自分のめあてを意識させる。

次に、発表会の流れを確認し、司会者の進行で発表会を行う。司会者には、司会者の言葉を掲示して、進行しやすいようにしておく。相手を意識して、全体に聞こえる声で、自信をもって言えるように、練習をしっかりとさせておく。

また、聞き手は「体を向けて・うなずきながら・最後まで」の聞く態度を意識させ、友達の考えたもののいいところや話し方のいいところを見つけながら聞くように、注意する。そのために、教師自身がうなずいたり、よいところを誉めたりして、よい聞き方を示すようにする。その上で、①いいと思ったところ②もっと知りたいこと③自分だったら④話し方についてなど、質問や感想の視点を与え、自分の思ったことを活発に発表できるようにする。

さらに、聞き手から発表した友達へのメッセージカードを準備し、発表のよかったところを伝えるようにし、分かりやすく話すことの楽しさを確かめ合えるようにする。

最後に、自分の聞き方・話し方を自己評価させて振り返らせ、今までの学習のがんばりを確認させるとともに、これからの様々な学習活動への関心・意欲を喚起する。

### 8 準備

- 教師 「話しかた」「聞きかた」の資料、「はっぴょう会のすすめかた」
- 児童 学習ノート、発表メモ、絵、メッセージカード



9 本時の展開 (※1自分の考えをつくる活動 ※2話し合い活動 ※3振り返り活動 ※**環**環境)

学習活動と内容	教師の支援と手だて
<p>1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○前時まで、班の友達、列の友達と発表の練習をしてきたことを想起させ、本時は学級全員に発表することを知らせ、本時学習のめあてを確認させる。</p>
<p>めあて 話し方・聞き方のめあてをもって、話したり聞いたりしよう。</p>	
<p>2 話し方・聞き方の自分のめあてを考える。 ○発表の話し方、聞き方、話し合い方を確かめる。</p> <p>3 「あったらいいな、こんなもの」発表会を行う。 ○発表会の流れを確認する。 ① 発表 ② 聞き手の質問・感想 ③ メッセージカードの記入 ④ 教師の話</p> <p>4 本時学習をまとめ、振り返る。 (1) まとめを書く。</p>	<p>※<b>環</b>教室掲示に着目させ、発表会での自分の話し方・聞き方のめあてを意識づけさせる。</p> <p>○司会者の言葉を提示し、発表会が子ども達で進められるようにする。 ※<b>環</b>「はっぴょう会のすすめかた」の資料を提示して確かめ、話題に沿って話し合えるようにする。 ○聞き手には、発表の仕方や内容、絵に表したよさなど、質問や感想の視点を与える。 ○発表に不安が残っている児童には、発表メモを手元に置かせたり、助言をしたりし、自信をもって発表できるようにする。 ※2メッセージカードに、発表のよかったところを書いて伝えさせ、分かりやすく話すことの楽しさを確かめ合えるようにする。</p>
<p>まとめ ・ 声の大きさやはやさにちゅういし、じゅんじょよく話すことができた。 ・ 大じなことをおとさずに聞き、しつもんしたりかんそうを言ったりできた。</p>	
<p>(2) 「今日の学しゅうで」を書き、振り返る。  (3) 次時学習について知る。</p>	<p>※3「今日の学しゅうで」を使って、話す・聞くに関する振り返りをさせる。 ※3話し方・聞き方を自己評価させて、振り返らせる。 ○次時は、発表会の続きとまとめをすることを知る。</p>